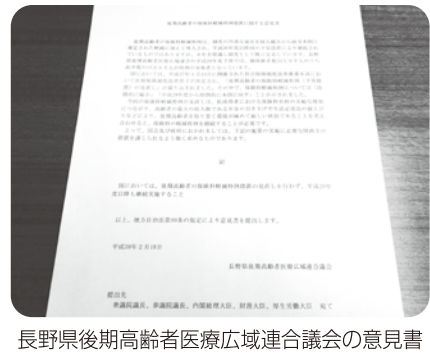


◆信州Fパワープロジェクト
問 発電施設の建設が遅れている。稼働はいつからか。
答 特定目的会社であるソヤノウッドパワー(株)により、年度内の着工、平成30年度の稼働を目指していると聞いてい

Fパワーの電力を 防犯灯に

公明党
 質問者 中村 努
 山口恵子
 持ち時間90分

◆その他の質問事項
 介護保険総合事業に関し、個人番号制度について質問した。



が必要と考える。市として継続できるよう頑張ってもらいたい。



F・パワープロジェクト発電施設建設予定地

問 発電用木材の安定供給のための環境整備はどうか。
答 森林の集約化の県内の森林経営計画の認定面積は、27年度までの累計で約16万5千648ha。林道や作業道等の路網整備は1万3千607km。高性能林業機械は295台となり、県内の年間素材生産量は大幅に増加し、着実に進んでいる。
問 電気エネルギーを地産地消としたいとのことだが、市民の目に見え、分かりやすい恩恵とするために、電力を市で買い上げ、地域の防犯灯の電力として地域に還元供給する考えはどうか。
答 大賛成である。素晴らしいアイデアをいただいた。従来から通学路の安全、商店街の照明費用負担など課題であった。それらを一括して市が

行うということは非常に分かりやすい。真剣に研究する。
問 ペレット製造は、民間では難しいと思うが、市長から森林公社という名前が出た。そこが行う可能性が高いと理解してよいか。
答 山の活性化ということで森林公社を検討しているが、当然ながらペレット製造も考えていきたい。
◆新体育館について
問 基本設計の進め方で、これからは個別具体的な要望が寄せられるが、どうするか。
答 現在は入札契約方式の検討をしている。基本設計では、これまでより具体的な事項を決定することとなり、体育館の多面的機能を保持しつつ、多様な市民意見の反映も必要となるため、関係者のヒアリングや市民への説明機会を設け意見集約に努める。
問 基本コンセプトは何か。
答 「ひとが集い」「未来への夢を描き」「地域を発信する」施設というコンセプトとし、市民の皆さんが利用したくなる施設。特に未来ある子ども達が夢を持てる施設としたい。

◆自殺対策について
問 本市の自殺の現状と交通事故死との比較はどうか。
答 平成23年から27年までの合計は79人で年平均15.8人の方が自ら命を絶ってしまった。それに対し、交通事故死は5年間で13人である。
◆身近な問題としても交通事故で亡くなるリスクより自殺のリスクが高いことを示している。長野県公明党青年委員会が自殺アンケートを実施している。結果を対策に反映して欲しい。

使いつらい。コンセプトに見合った利用区分料金にしてほしい。また、運営は類似施設の指定管理制度も参考にして、将来の維持管理費の削減につながるよう、設計段階から考えてほしい。

要望 先進地の体育館を視察したが、利用料が高く気軽に



夢のある使いやすい体育館を